

令和2年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課
------	-------------------


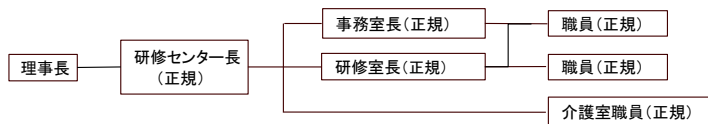
1. 施設名等 令和3年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市末町甲9番地1 089-914-0721 http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo
----------------	------------------------------	-----------------	--

2. 指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日	(5年間)
--------	------------------	------	-----------------------	-------

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	第1研修室、第2研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護の研修 ②介護に関する相談 ③介護に関する情報の提供 ④介護にかかわる関係団体等との連絡調整 ⑤センターの施設、附属設備等の維持管理 ⑥上記業務に付随する業務	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容)	
開館日・開館時間	開館日: 年末年始(12/29~1/3)を除く日、開館時間: 午前9時~午後5時	

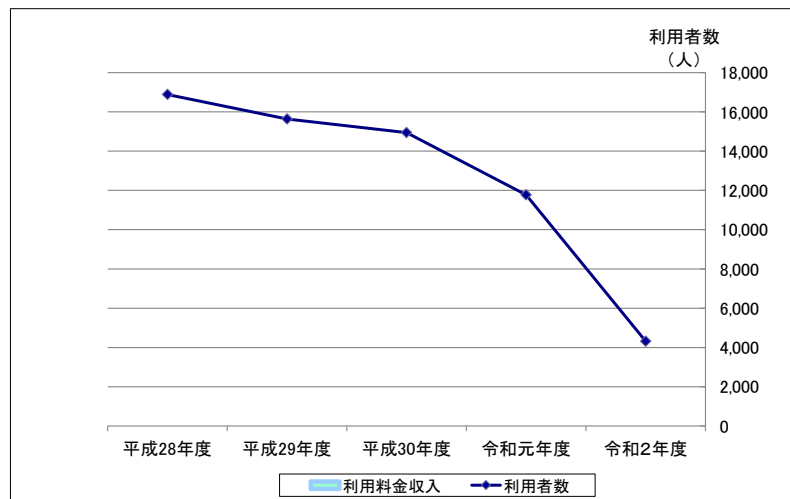
4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
県委託料(千円)	44,226	44,449	44,449	45,965	45,511	45,511

5. 施設の利用状況

(1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度増減率
利用者数(人)	16,886	15,639	14,948	11,780	4,319	△ 63.3 %
利用料金収入(千円)	-	-	-	-	-	%



(2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)
 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、主催研修の中止が2か月あり、その後の主催研修は定員を半数にして行ったが、なかなか定員を満たす参加者が集まらなかった。出前講座は決まっていた大半が中止となり、その後も企画そのものがあまりなく、ほとんど活動できなかった。

(利用料金収入)

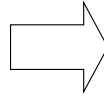
6. サービスの質向上に向けた取組み

ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は令和2年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

令和2年度の内容
<ul style="list-style-type: none"> ☆新型コロナウイルスの感染予防対策の強化に努めた。 ・教壇前には手製のシールドを立てる。 ・受講生は3人掛けで使用してきた机を2人掛けにし、同席する受講生間に透明アクリル板の間仕切りを固定して使用。 ・机の最前列には、前面に透明アクリル板の衝立を立てる。 ☆研修センター以外の会場で主催研修を行う時には、会場に合わせて上記の物品を持参し、感染予防を行った。 ☆新型コロナウイルスの感染予防対策から、人の移動に制限が加わり、多数の参加者を集めて研修を行うことが難しくなったため、パソコンでもスマートフォンなどで受講できる動画配信による研修を開始した。 動画配信の利点として <ol style="list-style-type: none"> ①一堂に会さないで感染のリスクが無い。 ②定員が無いので、多数が受講できる。 ③遠隔地からも、交通費及び移動時間を掛けずに研修に参加できる。 ④決められた研修時間以外の時間で、受講生が各自の都合に合わせて受講できる。 ☆ホームページから、介護ミニ動画(YouTubeにリンク)を見られるようにして、介護の初心者にとって参考となる情報を提供している。 ○パンフレットの作成・配布及びホームページへの掲載。 ○主催研修チラシ・月別研修一覧表等の作成・配布。 ○研修内容の充実と受講者の満足度向上を図るため、受講者アンケートを実施。 ○研修用介護福祉用具の充実、介護関係図書・DVD等の貸出し。

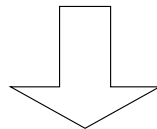
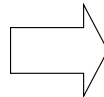
令和3年度の内容(予定含む)
<p>主催研修に使用していた第1研修室の定員が、20名を上限としなければならないので、第2研修室とオンラインで繋ぎ、大型モニターで視聴して同時受講を可能にする。第2研修室の定員は12名とし、第1研修室にいる講師と質疑応答などができるようにする。</p> <p>研修室の感染予防対策は、昨年度同様、しっかりと継続する。</p> <p>今まであまり研修センターと接点のなかった世代や職種の人達に向けて、リスティング広告やバナー広告、SNS広告を利用したデジタル広告事業に取り組む。</p>



イ) 利用者からの声への対応状況(令和2年度)

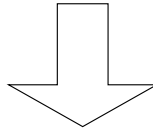
利用者からの評価や苦情・要望の主な内容
<p>評価(研修後の一般受講生のアンケートより抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策がよくされていると思った。参加できてよかった。 ・親の介護をするときの接し方について、とても参考になった。 ・高齢者だけでなく、一般の人も含めた災害時の支援について分かりやすい説明で良かった。 ・73歳の自分に必要な情報だと実感した。とてもわかりやすいレクチャーだった。 ・今後、介護が必要な人が増えていく中で、研修センターが果たす役割はとても大きいと感じた。 ・夫の介護をして4年目となる。とても参考になった。 ・大変良かった。もっと若いころに学んでいれば良かった。 ・動画配信の研修は、松山まで遠いので、ありがたい。今後も続けて欲しい。 <p>苦情・要望(研修後の一般受講生のアンケートより抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画配信など、県全体に知らせて頂きたい。 ・個人でも講座内容などを知ることが出来るようにしてほしい。 ・研修センターのことは、もっとPRすべきではないか。 ・動画配信は、気になる講座を、いつでも視聴できたら良いと思う。 ・男性を引っ張り出せるような研修が必要。 ・研修センターは遠いので、ほかの施設でもやってもらいたい。 ・駐車場が一杯だったので、枠外に止めた。

利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>研修センター及び動画配信等の広報活動について 今までの広報活動としては、主催研修・出前講座の折に、パンフレットと研修一覧表及び参加者に合わせたチラシなどを配布する方法と、偶数月に県内各市町、社会福祉協議会、地域包括支援センター、福祉介護施設、老人クラブ、公民館等へ研修一覧表、チラシ等を郵送(約400部)を中心に行ってきた。これからはそれに加えて、マスメディアやデジタル広告なども活用し、さらに広く広報していきたい。</p> <p>男性向けの研修 介護に備える必要性は男女関係ないが、男性は通常は受講生の約3割ほどしか参加されていない。やはり介護の研修は、圧倒的に女性受講生が多いため、受講に二の足を踏まれる男性が多いと思われる。そこで、2年前より「介護版男性専科」という研修を行っている。これは受講生も講師も男性に限る研修で、参加者からは「男性だけと分かっていたので、参加しやすかった」などと好評。これを継続し、できれば出前講座などでも取り組んでいきたい。</p> <p>研修センターは遠いと言われる方 出前講座の活用をもっと広める必要を感じる。併せて、主催研修のライブ配信等も今後の検討事項と考える。</p> <p>駐車場の件 駐車場の整備に関しては、駐車場のラインが見えにくく、駐車スペースが明確になっていなかったため、新たにラインを引き直し、分かりやすくする。</p>



7. 令和2年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>愛媛県在宅介護研修センターは開設以来、主催研修・出前講座・見学研修等、すべての研修を対面で行ってきた。そしてその中で、人と集うこと、ふれあうことの大切さを、介護の在り方として、また地域づくりに欠かせないものとして伝えてきた。しかし、残念ながら令和2年度は、新型コロナウイルスの出現により、かつて想像もできなかった事態に陥った。まず感染予防の為に、集うこと、ふれあうことが出来なくなった。年度の初めに企画した主催研修は2か月間全く中止となり、その後も感染状況により中止せざるを得ない講座が何講座もあった。依頼のあった出前講座も年度当初はほとんど中止となり、その後も毎月1ヶ台で推移した。そこで、先の見えない状況下でも、集まらないで研修ができる手段を考え、動画配信による研修を開始した。また県外講師が感染予防対策のため来県できなくなった時は、リモートで研修を行った。このように新しい研修のスタイルに対応すべく、手探りながらも少しずつ前進していることに、一定の評価をしたいと思う。今後も、研修を取り巻く事態が急速に変わることは難しいとしたら、その状況下で果たせる役割を再度構築したいと考える。</p> <p>しかし、当研修センターの本来の特徴は、来所して頂き、介護に関する予備知識を学ぶこと、保養所から研修センターに改築した際のポイントなどを見学して、住宅改修の参考にしてもらうなど、この場に来ていただかないと出来ないことが多くあるので、一日も早く、見学研修等の研修事業が普通に行える日に戻ることを期待したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地において地域と連携した多彩な講座を積極的に展開し、順調に受講者数の実績をあげてきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため主催研修及び出前講座の中止や定員の減等で、受講者数が伸び悩んだ。そこで、新たに研修の動画配信システムを構築し、オンライン研修を開始した。その都度ニーズに応じた研修計画を立てており、令和2年度の取組も評価できる。また、動画配信による研修は、感染予防対策だけでなく、スマホやPCがあれば、場所や時間に制限されることなく受講できるため、新たな受講者の獲得につながった。 ・利用者のニーズの把握に努め、迅速かつきめ細かな対応がなされている。 ・受講者アンケートでも好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。 ・様々な工夫により経費節減に努めるとともに、施設・設備については、適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した運営管理が行われている。 ・新型コロナウイルス感染拡大をうけ3密回避等の感染防止対策が適切に行われており、今後も継続して実施していただきたい。 ・今後も老朽化に伴う施設・設備等の修繕について、優先度を見極め計画的な予算執行に努めていただきたい。



8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>指定管理者は、多彩な研修を積極的に展開し、在宅介護研修センターの利用促進と、利用者の満足度の向上に努めており、高く評価できる。また、利用者の要望に的確に対応するとともに、円滑かつ安定した運営がなされており、施設・設備も適切なメンテナンスにより良好に保たれている。介護の研修の場と実践の場が一体となった研修施設は、他県には例をみないものであり、先進的取組として民生児童委員など県外から視察に訪れるなど、全国に誇れる施設として一層の発展を目指していただきたい。また、新型コロナウイルス感染防止対策として導入した動画配信システムについては、このコロナ禍において、感染リスクの低減を図りつつ、受講の機会を広く設けることができ有効であった。今後も一層のセンターの利用促進と利用者の満足度の向上に努めていただきたい。</p> <p>今後さらに進展する高齢化を見据えた時、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で助け合い支え合う社会づくりを進める必要がある。在宅介護研修センターの存在価値はますます高くなっている。今後も引き続き、広く一般県民を対象として、生きた介護を学ぶことのできる実践的研修を展開し、本県の介護の質の向上と、地域の介護力強化に努めていただきたい。</p>
